キャラクター名: 水仙 紬(すいせん つむぎ)

プレイヤー名:

シンドローム	ウロボロス ウロボロス	**ワークス**	UGNエージェントD	**カヴァー**	シンガーソングライター
オプショナル		**年齢**	23(見た目年齢)	**性別**	女
覚醒	感染	**衝動**	飢餓	**初期侵食率**	31 %
出自	天涯孤独	**経験**	喪失	**邂逅**	忘却

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	2	0	0			2
感覚	2	0	0			2
精神	4	0	0			4
社会	0	1	0			1

HP	28
行動値	8
(非装備時)	8
戦闘移動	13
全力移動	26

肉体 技能	SL	修正	感覚 技能	SL	修正	精神 技能	SL	修正	社会 技能	SL	修正
白兵	6		射撃			RC	1		交渉	1	
回避			知覚	1		意志			調達	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：UGN	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
	白兵	8r+6	2	37		

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲： 0　合計回避： 0

所持品	
思い出の一品(指輪)	

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
古代種	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4　残り財産P： 2

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：コスト分のHPで復活								
尾を喰らう蛇	1	4	セットアップ	至近	自身	自動	-	
効果：1D点のHPを失う、オーヴァードにダメージを与えた際に使用できるエフェクトを1つ使用できる								
喰らわれし贄	5	1	オート	至近	自身	自動	-	
効果：HPダメージを与えた際に使用 攻:+[Lv*3](シーン間)、1シーン1回								
影の武具(インフィニティウェポン)	1	3	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：武器作成 攻:+[Lv+6]、ガード値:2								
原初の青(陽炎の衣)	3	4	マイナー	至近	自身	自動	-	
効果：隠密状態								
コンセントレイト:ウロボロス	2	2	メジャー	-	-	シンドローム	-	
効果：C値-Lv(下限値7)								
無業の影	1	4	メジャー	-	-	効果参照	-	
効果：あらゆる判定を【精神】で行う								
シャドーテンタクルス	1	1	メジャー	視界	-	白兵	-	
効果：射程変更								
原初の赤(見えざる死神)	5	3	メジャー			白兵、射撃	-	
効果：隠密状態時、ダイス+1個、攻:+[Lv*3]								
フォース	1	3	メジャー	-	-	効果参照	D	
効果：あらゆるメジャーアクションの判定ダイス+Lv個								
影の守り手	2	2	オート	至近	自身	自動	-	
効果：ガード値+[Lv*3]								
原初の白(スモールワールド)	3		オート	視界	単体	自動	80	
効果：判定直後に使用、達成値-[Lv*5]								
イージーフェイカー(透明存在)	★							
効果：他人に注意を向けられなくなる								
傍らの影法師	★							
効果：影を立体化させ、人や動物を作る								

以前のコードネームは戦女神(セクメト)

遥か昔から生きてきた
誰も、私とは一緒に生きられないのだから、なら最初から一人の方が余計な傷なんて作らなくて済むだろう？

ここからパーソナル
Rハンドアウト公開するまで見ちゃダメ

本名はマリエ·ロスチャイルド
今から数千年前、とある国で起きたレネゲイド災害により古代種に感染
故郷を失った彼女は住処を求めて旅に出るが、何年経っても老いることのない彼女を受け入れる者はいなかった
最初だけ受け入れられて、老いないことに気付かれると迫害されて
そんなことを数千年繰り返し続けてきた
名前で呼ばれるより、魔女だとかバケモノと呼ばれる回数の方が多くなった頃には名前を名乗るのをやめた
どうせ、誰も呼ばない名なら持っている必要もない
彷徨い続けて、心はとっくに限界を超えてしまった
求めるものもいつしか住処じゃなく死に場所に変わっていた
もうなにもかもどうでもいい
終わらせられるならなんでもいい
そう思いながら辿り着いた場所で、彼と出会った